

案

平成 1 8 年 月 日

愛知県環境影響評価審査会
会長 成瀬 治興 様

愛知県環境影響評価審査会
春日井土地区画整理部会
部会長 永瀬 久光

春日井都市計画事業春日井熊野桜佐土地区画整理事業環境影響評価
準備書について（報告）

平成 1 8 年 2 月 6 日に審査を依頼されたこのことについては、別添のとおり
です。

春日井都市計画事業春日井熊野桜佐土地区画整理事業 環境影響評価準備書に係る部会報告（案）

はじめに

春日井都市計画事業春日井熊野桜佐土地区画整理事業環境影響評価準備書について、環境の保全の見地から慎重に検討を行った。

都市計画決定権者は、以下の事項について十分に検討して、その結果を環境影響評価書（以下「評価書」という。）に記載する必要がある。また、事業者は、評価書に記載される内容に従って、環境保全に十分に配慮する必要がある。

1 共通事項

- (1) 事業の実施に当たっては、環境保全対策に関する最善の技術を導入するなど、より一層の環境影響の低減に努めること。
- (2) 環境への影響に関して新たな事実が判明した場合などにおいては、必要に応じ適切な措置を講じること。
- (3) 本事業においては、JR中央線の近傍及び幹線道路沿道の一部が住宅地としての土地利用が計画されている。また、既設の高圧送電線が事業実施区域を通過している。土地区画整理事業は、良好な環境を持つ市街地を形成することを目的とするものであることから、土地利用計画や都市施設の配置に当たっての環境配慮の内容を明らかにすること。

2 大気質、騒音、振動

- (1) 事業実施区域及びその周辺には、住宅等が立地していることから、工事の実施に当たっては、事業実施区域及びその周辺における生活環境への影響をより一層低減するため、住宅等からの距離、建設機械の配置、作業時間等に十分配慮するとともに、低公害型の建設機械を積極的に採用すること。
- (2) 工事用車両が通行するルートに沿道には住宅等が立地していることから、工事の実施に当たっては、沿道環境への影響をより一層低減するため、工事用車両の走行台数の平準化や運行経路の分散化を図るとともに、最新規制適合車を積極的に採用すること。

3 水質

工事の実施に当たっては、降雨による濁水の流出防止のため、沈砂池・調整池の浚渫等により、必要な沈砂機能を維持・確保するとともに、流出水の濁りの状況を把握し、必要に応じ適切な措置を講じること。また、沈砂池等の施工時における濁水の流出防止や現場作業事務所からの生活排水等による汚濁防止に努めること。

4 動物、植物、生態系

(1) 重要な種であるカヤネズミ、ダルマガエル、オグラノフサモ及びナガエミクリに対する環境保全措置として実施するビオトープや水路等の整備・移植については、あらかじめ専門家の指導や助言を得ながら生息・生育状況を踏まえて適切に実施すること。

なお、ビオトープや水路の整備については、多様な動植物の生息・生育にも配慮するとともに、それらの維持管理を適切に行うこと。

また、当該環境保全措置の実施主体を明らかにするとともに、実施主体が複数となる場合には、各主体の連携を十分図ること。

(2) 環境保全措置の効果を確認するために実施する事後調査については、専門家の指導や助言を得ながら適切な手法等を選定して、重要な種の生息・生育状況を適確に把握し、必要に応じ適切な措置を講じること。また、その状況を関係機関へ報告する旨についても明らかにすること。

(3) 既往調査及び現地調査で確認された動植物について、昆虫類及び植物の確認リストが記載されていないことから、そのリストを評価書に記載すること。

5 地域の歴史的文化的特性を生かした環境の状況

春日井市により指定されている事業実施区域の保存樹は、社寺林の一部であるなど地域の歴史的文化的特性を生かした環境を構成する要素であることから、その保全について配慮すること。

6 廃棄物等

工事の実施に当たっては、廃棄物等の発生を抑制することはもとより、再使用又は再生利用を徹底するとともに、再使用又は再生利用できないものについては、適正に処理すること。

7 その他

(1) 評価書の作成に当たっては、住民などの意見を十分に検討するとともに、住民などにわかりやすい内容となるよう努めること。

(2) 事業の実施に当たっては、住民などからの環境に関する要望などに対して、適切な対応を図ること。

検 討 の 経 緯

年 月 日	会 議	備 考
平成18年 2 月 6 日	審 査 会	知事からの諮問 準備書の内容の検討 住民意見の概要等の検討 部会の設置及び付託
平成18年 3 月16日	部 会	準備書の内容の検討
平成18年 4 月14日	部 会	準備書の内容の検討 公聴会意見の検討 関係市長意見の検討
平成18年 5 月 9 日	部 会	準備書の内容の検討 部会報告の検討

愛知県環境影響評価審査会春日井土地地区画整理部会委員

今榮	東洋子	慶應義塾大学理工学部教授
岡本	真理子	東海女子大学人間関係学部教授
北田	敏廣	豊橋技術科学大学工学部教授
黒田	達朗	名古屋大学大学院環境学研究科教授
大東	憲二	大同工業大学工学部教授
武田	明正	三重大学名誉教授
竹中	千里	名古屋大学大学院生命農学研究科教授
田中	稲子	岐阜市立女子短期大学非常勤講師
永瀬	久光	岐阜薬科大学薬学部教授
長谷川	明子	財団法人日本生態系協会評議員
堀越	哲美	名古屋工業大学工学研究科教授

部会長

部会長代理

(敬称略、五十音順)